

茨城工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	人間と世界Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0060			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位Ⅱ: 2		
開設学科	国際創造工学科 電気・電子系			対象学年	4		
開設期	通年			週時間数	前期:1 後期:1		
教科書/教材	角川書店編 ビギナーズ・クラシックス日本の古典 『万葉集』（角川ソフィア文庫） / その他適宜プリント等を配布する。						
担当教員	桐生 貴明						
到達目標							
・ 万葉集の和歌、記紀風土記の文章に触れ、その表現の仕方について理解する。 ・ 古代の人々の人間観、世界観、宗教観などについて考えを深める。 ・ 古代と現代の仮名表記や語の違いについて理解する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
		万葉集の和歌、記紀風土記の表現の仕方について十分に理解している。		万葉集の和歌、記紀風土記の表現の仕方を理解している。		万葉集の和歌、記紀風土記の表現の仕方を理解していない。	
		古代の人々の人間観、世界観、宗教観などについて、深く考えている。		古代の人々の人間観、世界観、宗教観などについて、考えている。		古代の人々の人間観、世界観、宗教観などについて、考えを深めようとしていない。	
		仮名表記や語の違いについて、十分に理解している。		仮名表記や語の違いについて、理解している。		仮名表記や語の違いについて、理解していない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	日本最古の和歌集と言われる萬葉集の歌々に触れ、古代日本人の喜怒哀楽、ものの見方や考え方を探る。その上で、古代から現代に通じる日本の思想、文化について思索を深める。						
授業の進め方・方法	講義形式を主とするが、適宜、学生に意見を求めたり、和歌の音読を行ってもらったりする。						
注意点	予習の際、講義で取り上げる歌の大まかな歌意を確認しておいてください。古代日本人から脈々と受け継がれる感性を掘り起こしてみましょう。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		1年間の学習内容について。		
		2週	万葉集概説		成立、名義など、万葉集の基本事項を知る。		
		3週	万葉集概説		成立、名義など、万葉集の基本事項を知る。		
		4週	万葉集概説		成立、名義など、万葉集の基本事項を知る。		
		5週	記紀、風土記などの概説		万葉集以外の上代諸文献について、大要をつかむ。		
		6週	巻一・一番歌		雄略天皇御製歌を読み、巻頭に配される意義について考える。		
		7週	巻一・一番歌		雄略天皇御製歌を読み、巻頭に配される意義について考える。		
		8週	(中間試験に代わる試験)				
	2ndQ	9週	巻一・一六番歌		額田王の「春秋」争いの歌を読み、詠者の季節感を知るとともに、当時の和歌のあり方について理解する。		
		10週	巻一・一六番歌		額田王の「春秋」争いの歌を読み、詠者の季節感を知るとともに、当時の和歌のあり方について理解する。		
		11週	巻一・二〇、二一番歌		大海人皇子と額田王それぞれの歌意をとらえたうえで、歌の場について考える。		
		12週	巻一・二〇、二一番歌		大海人皇子と額田王それぞれの歌意をとらえたうえで、歌の場について考える。		
		13週	巻二・一四一、一四二番歌		有間皇子の歌を読み、皇子の思い、当時の政治情勢などについて考える。		
		14週	巻二・一四一、一四二番歌		有間皇子の歌を読み、皇子の思い、当時の政治情勢などについて考える。		
		15週	(期末試験)				
		16週	総復習		前期授業内容について振り返る。		
後期	3rdQ	1週	巻三・三三八番歌、他		大伴旅人の謠酒歌を読み、中国文学との関連性について理解するとともに、旅人の表現世界を知る。		
		2週	巻三・三三八番歌、他		大伴旅人の謠酒歌を読み、中国文学との関連性について理解するとともに、旅人の表現世界を知る。		
		3週	巻三・三三八番歌、他		大伴旅人の謠酒歌を読み、中国文学との関連性について理解するとともに、旅人の表現世界を知る。		
		4週	巻十九・四二九〇、四二九一、四二九二番歌		万葉集中に最も多くの歌を残した大伴家持の歌に触れ、繊細な歌表現のありようを理解する。		
		5週	巻十九・四二九〇、四二九一、四二九二番歌		万葉集中に最も多くの歌を残した大伴家持の歌に触れ、繊細な歌表現のありようを理解する。		
		6週	巻十九・四二九〇、四二九一、四二九二番歌		万葉集中に最も多くの歌を残した大伴家持の歌に触れ、繊細な歌表現のありようを理解する。		
		7週	(中間試験)				
		8週	巻九・一八一〇、一八一一番歌		菟原娘子の歌を詠み、妻争い伝説について、理解を深める。		

	4thQ	9週	巻九・一八一〇、一八一一番歌	菟原娘子の歌を詠み、妻争い伝説について、理解を深める。
		10週	巻九・一八一〇、一八一一番歌	菟原娘子の歌を詠み、妻争い伝説について、理解を深める。
		11週	東国に関連する歌	東国に関連する歌を読み、歌の内容をつかむ。常陸国風土記の文章にも触れる。
		12週	東国に関連する歌	東国に関連する歌を読み、歌の内容をつかむ。常陸国風土記の文章にも触れる。
		13週	東国に関連する歌	東国に関連する歌を読み、歌の内容をつかむ。常陸国風土記の文章にも触れる。
		14週	東国に関連する歌	東国に関連する歌を読み、歌の内容をつかむ。常陸国風土記の文章にも触れる。
		15週	(期末試験)	
		16週	総復習	後期授業内容を振り返るとともに、1年間の授業内容について振り返る。

評価割合							
	試験	提出物等					合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0